

(仮称) 台東区環境基本条例骨子案 パブリックコメントの実施結果

意見受付期間	令和5年10月5日(木)～26日(木)			
意見受付場所	区公式ホームページでの受付のほか、各区民事務所・分室・地区センター、区政情報コーナー、生涯学習センター、環境ふれあい館ひまわり、環境課窓口で骨子案閲覧・意見受付。			
意見受付件数	3人 3件			
提出方法の内訳	郵送	0人(0件)	ファクシミリ	0人(0件)
	ホームページ	3人(3件)	持参	0人(0件)

項番	意見	区の考え方
1	ぜひ頑張ってください。期待しています。観光客に対しても条例を遵守してもらおうという旨の記述がありましたが、実際に協力してもらおうためにどのような活動を行うのでしょうか。また、そのアピールは効果が見込めるものなのでしょうか。	本条例は、環境保全に関する区の施策の基本的な事項を定めています。 観光客等の滞在者に対する具体的な取組については、「台東区環境基本計画」に位置付け、その実行を担保して参ります。
2	基本条例の案なので、どうしても抽象的な表現が多くなるのは仕方がないと思いますが、「事業者」への制限と市民参加の視点が弱いと思いました。建物の建設と環境の視点でコメントをさせていただきます。台東区(特に新御徒町、蔵前エリア等)は、古い民家を取り壊し、事業者が新築マンションやホテルを建設したりするケースが多く見受けられます。スクラップ&ビルドは環境負荷も高く、歴史ある民家が無くなるということは歴史が失われる意味もあります。現在の街の在り方は、少なくとも「定義」に記載されている「環境の保全」、「環境への負荷」に逆行しているように見えます。「事業者が買い取った土地だから事業者が好きにできる」とするのではなく、その場所の活用を市民に決めてもらい、そのあとに事業者が話に入るといった段取りにな	ご指摘の通り、建物の解体や建設においては、廃棄物の発生や燃料の消費などCO <sub>2</sub> 排出による環境への負荷がある反面、高断熱化等による建物の省エネ性能の向上というメリットもあると考えています。 地域主体で古い建物を残す等のご意見については、まちづくりの観点で考えて参ります。

	<p>るような方針にしていきたいです。古い建物等は、有効活用できるように区が買い取って施設にしたり、公営住宅のように使いまわす等色々検討出来ることがあると思います。そういった活用方法を市民に決めてもらうような市民参加型の方針を明記していきたいと思います。</p>	
3	<p>エネルギーの適正な活用・自然環境との共存という観点から、また、社会的人口構成の見直しから、或いは、地域の魅力を十分に維持し醸成する観点から、「わたしたちの広い空を守ろう」というスローガンのもと、まちづくりを進めることを強く強く要望します。現在、蔵前地域やおおくの台東区エリアのおよそ70%は、「商業地域」に当てはまります。このため、高層マンションが乱立し、古くからの地元住民や樹木などは、日当たりが確保できず、「長く住んでいる人ほど、歳月に比例し住まう環境が悪化している」現実があります。当方は、蔵前に住んでおよそ20年ほどになりますが、当初は見晴らしよく、星空や月の満ち欠けも部屋から臨めることができ、隅田川の花火も眺めることができました。しかし今は、「月食」「スーパームーン」など巷での天体ショーを愛でることも、隅田川の花火も一欠片も見ることができません。住んで以来、マンションの建設がない時期はありませんでした。逆に言うと、当方が棲むようになったマンションが建設されたことも珍しかったことから、半世紀以上住んでいた地元の方々は、更に「マンションが建設され続け」「日当たりを奪われ、星空も失う」状況であったと言えます。高齢化社会、ことさら台東区の高齢者人口等を考えると、マンションの建設により「家族世帯を呼び込もう」という糸もあるかと思いますが、長く住まう人や歳月を経ないと育たない樹木や緑化、そこに集う鳥や虫たちなどの自然環境の保全は長い目で見たときに、まちのあり方に大きな影響を与えていると思います。活気あるまちづくりも大切ですが、心豊かにすまえる地域環境の醸成は長期的に、</p>	<p>貴重な自然を活かした良好な環境づくりとして、区では、公園や街路等の緑化の充実や、花とみどりの創出に努めております。</p> <p>建築物の高さ制限等に関するご意見については、まちづくりの観点で考えて参ります。</p>

地域に愛着を持つ区民を育むとても大切な要素  
と思います。子育て世帯や若い世代が長く棲め  
る環境でもあると思います。徒に高層マンショ  
ンを建てるのではなく、自然環境や太陽の暖か  
さ・日差しの明るさ、夜空の美しさを日頃の日常  
生活の中で、感じられるような環境の確保に、舵  
を切ることはいかなるのでしょうか？また「まち  
並み」の景観的な側面でも、どの自治体もやって  
いないだろう「低層階住宅」のまちづくりを実現  
してほしいです。低層階＝例えば3階或いは5  
階程度までとすれば、隣家の多くは空を確保で  
きたり、災害時のエレベーター閉じ込めなど不  
便もなく、一方で防災面での安全性はギリギリ  
担保できる高さであると思います。その低層建  
物にも屋上は緑地化したり、低層階に高齢者住  
宅・保育施設・医療施設などが複合的にある、な  
ど。交通利便性も大事ですが、便利だけではない  
大切なこと＝自力で歩けるまちづくりの視点で  
も、低層住宅・建物のメリットは有るかと思いま  
す。自然の中に人々の暮らしがある、という順  
番？を今一度意識した、人間の暮らしの「住処」  
をまちづくりの骨子に据えていただけるといい  
なあと思いました。